

平成29年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会（大分）

シンポジウム「獣医師の職場環境のより一層の充実を
一国、地方団体、臨床現場が取り組む活動宣言」

平成29年度獣医療提供体制整備推進総合対策事業

*** 日本獣医師会における取組みと課題 ***



栗本まさ子

公益社団法人日本獣医師会
女性獣医師支援対策検討委員会

女性の就業環境の変化

昭和50年（1975年）

国連「国際婦人年世界会議」開催（メキシコ）

その後の10年にわたる国内外での行動への指針を与える「世界行動計画」採択

同年の国連総会で「行動計画」承認

1976年から1985年までを「国連婦人の10年」とすることを宣言

その目標は、平等・発展・平和

日本「国際婦人年に当たって」内閣総理大臣メッセージ

「国際婦人年にあたり婦人の社会的地位の向上を図る決議」国会決議

昭和51年（1976年）

➡ 多くの分野、多くの職種で女性への門戸が開かれた



女性の就業環境の変化

昭和54年（1979年）国連「女子差別撤廃条約」採択

昭和60年（1985年）日本「女子差別撤廃条約」批准

昭和60年（1985年）「男女雇用機会均等法」成立

昭和47年の「勤労婦人福祉法」を改正

⇒「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等**女子労働者の福祉の増進**に関する法律」

＊採用・昇進・教育訓練などについて、女性であることを理由に男性と差別的に扱うことを禁止(努力義務)

＊時間外・休日・深夜労働の制限緩和、産後の休業期間延長

平成4年 育児休業法

平成7年 育児・介護休業法



女性の就業環境の変化

平成9年(1997年) 男女雇用機会均等法改正

「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律」

- * 採用・昇進・教育訓練などについて、女性であることを理由に男性と差別的に扱うことを禁止（禁止規定）
- * セクシャル・ハラスメント防止義務など
- * 労働基準法も改正され女性の活躍を阻む古い規制(深夜業務の禁止等)は廃止

平成11年(1999年) 男女共同参画社会基本法

- * 男女共同参画基本計画を立て5年ごとに見直し

平成18年(2006年) 男女雇用機会均等法改正

- * 男女双方に対する雇用上の差別禁止
- * 妊娠・出産・産前産後休業の取得を理由とした不利益扱いの禁止など

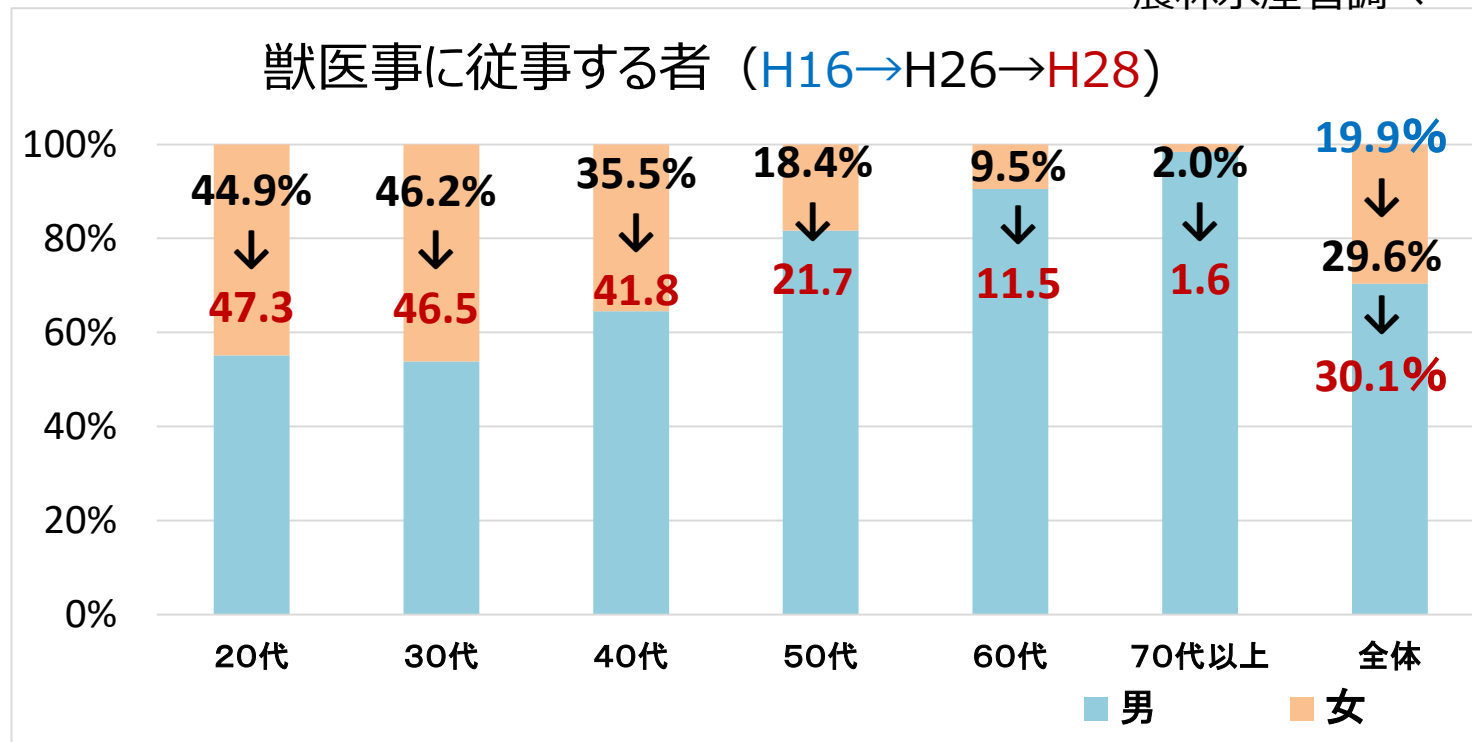


平成28年 女性活躍推進法全面施行

- * 女性の採用、登用、能力開発等のための行動計画の策定を事業主に義務づけ

女性獣医師の就業状況

農林水産省調べ



* 全体の3割、20～30歳代は約半数が女性獣医師

* 10年間で1.5倍に増加 (H16年19.8% → H28年30.1%)

公務員：38% (農林水産分野33% 公衆衛生分野41%) 20代、30代は半数超

産業動物診療分野：12.2%→13.3% 30代は約3割、20代は約4割

小動物診療分野：32.7%→33.4% 20～30代は4割強

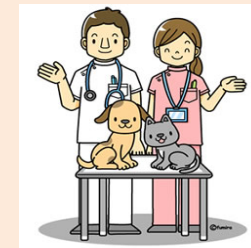
無職の女性獣医師の割合：6.9%→7.0%

* 日本獣医師会における取組みの始まり *

女性獣医師支援特別委員会

目的等：女性獣医師のキャリアアップ・就業継続支援
女性獣医師だけに着目せず「すべての獣医師が活躍しやすい環境づくりをめざそう」をコンセプトに平成25年9月検討開始

委員： 荒井 桂（オホーツク農業共済組合）
石田真知子（千葉県農業共済組合連合会）
嶋田直子（北海道函館市）
西木千絵（東京都八王子市）
三谷邦子（福岡県福岡市）
及川知子（横浜市健康福祉局）
木村哲子（東京都動物愛護相談センター）
前田育子（茨城県県西家畜保健衛生所）
稲垣靖子（神奈川県湘南家畜保健衛生所）
栗本まさ子（公益財団法人日本乳業技術協会）



注：所属は委員会開催当時

アンケート調査の実施

- 調査目的 女性獣医師の就業環境の実態を把握し、就業支援のための基礎資料とする。
- 実施期間 平成26年 1月17日～ 2月16日
- 実施方法 インターネットアンケート方式
- 回答者 全国の調査協力獣医師 4,371名
男性2,923名 (67%)
女性1,429名 (33%)

アンケート調査の結果

○仕事上の不安や負担

・女性獣医師

妊娠中に仕事ができるか 育児と仕事が両立できるか

・男女共通

給料が安い・収入が少ない（公務員・20～30代）

休暇がとれない・労働時間が長い（小動物診療）

知識、経験の不足、技術的に自信がない（20～30代）

○女性の就業支援の実態（不十分との回答が多かったもの）

産休・育休中の代替獣医師の確保 休業中の情報提供

ロールモデルの紹介、スムーズな復帰のための研修

育児休業・子の看護休暇（小動物診療）

○女性の離職理由 離職経験者は27%

妊娠・出産 育児

アンケート調査の結果

1,960名からいただいた自由回答の分析結果

①多く使用されている単語を抽出して傾向を知る手法による分析

女性獣医師のライフステージの中で、出産と育児が大きなトピック。

産休・育休を気兼ねなく取得できるよう代替獣医師の確保、短時間勤務の仕組みづくりが必要であるとの意見。

小動物診療分野に、職場環境の厳しさを感じている特徴。

②男性獣医師等の意見

女性獣医師が優遇され過ぎている、出産育児への配慮により、甘えが助長される、出産育児を経験していない女性との間に不公平感が出ている、といった意見。



ワーク・ライフ・バランス(仕事と家庭の両立支援制度)

【3歳未満の子どものを養育する場合】

育児休業

配偶者の就業等の状況にかかわらず
取得可能

【出産する場合】

産前・産後休暇

産前6週間、産後8週間
(多胎妊娠の場合は産前14週間)

【生後1年未満の子を養育する場合】

保育時間

子が1歳に達するまで、
1日2回それぞれ30分以内

【小学校就学前の子どものを養育する場合】

育児短時間勤務

勤務時間を1日3時間55分
(週19時間35分)等に短縮

【小学校就学前の子どものを養育する場合】

育児時間

1日の勤務時間の一部(2時間まで)
を勤務しないことが可能

【小学校就学前の子どものを看護する場合】

子の看護休暇

年5日
(対象となる子が2人以上の場合は年10日)

【小学校就学前の子どものを養育、放課後児童クラブ等に通う
小学生の子どもの送り迎え、又は父母等を介護する場合】

早出遅出勤務

始業・終業時刻を繰り上げ
又は繰り下げて勤務

【小学校就学前の子どものを養育、
又は父母等を介護する場合】

深夜勤務・超過勤務制限

深夜勤務は免除
超過勤務は月24時間・
年150時間以内に制限

【3歳未満の子どものを養育する場合】

超過勤務の免除

【配偶者、父母、子、祖父母、孫、
兄弟姉妹等を介護する場合】

介護休暇

6ヶ月の期間内で必要と
認められる期間

【配偶者、父母、子、祖父母、孫、
兄弟姉妹等の介護等を行う場合】

短期介護休暇

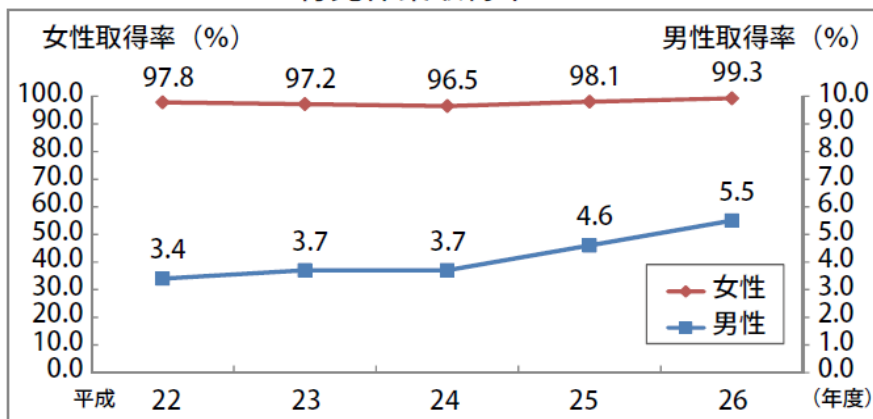
年5日
(対象となる要介護者が2人以上の場合は年10日)

【外国で勤務等をする配偶者と外国
において生活を共にする場合】

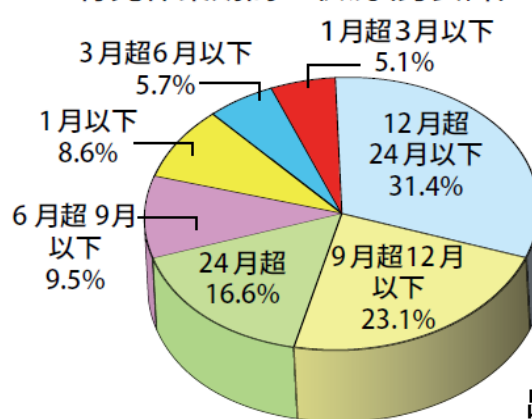
配偶者同行休業

3年を超えない範囲内

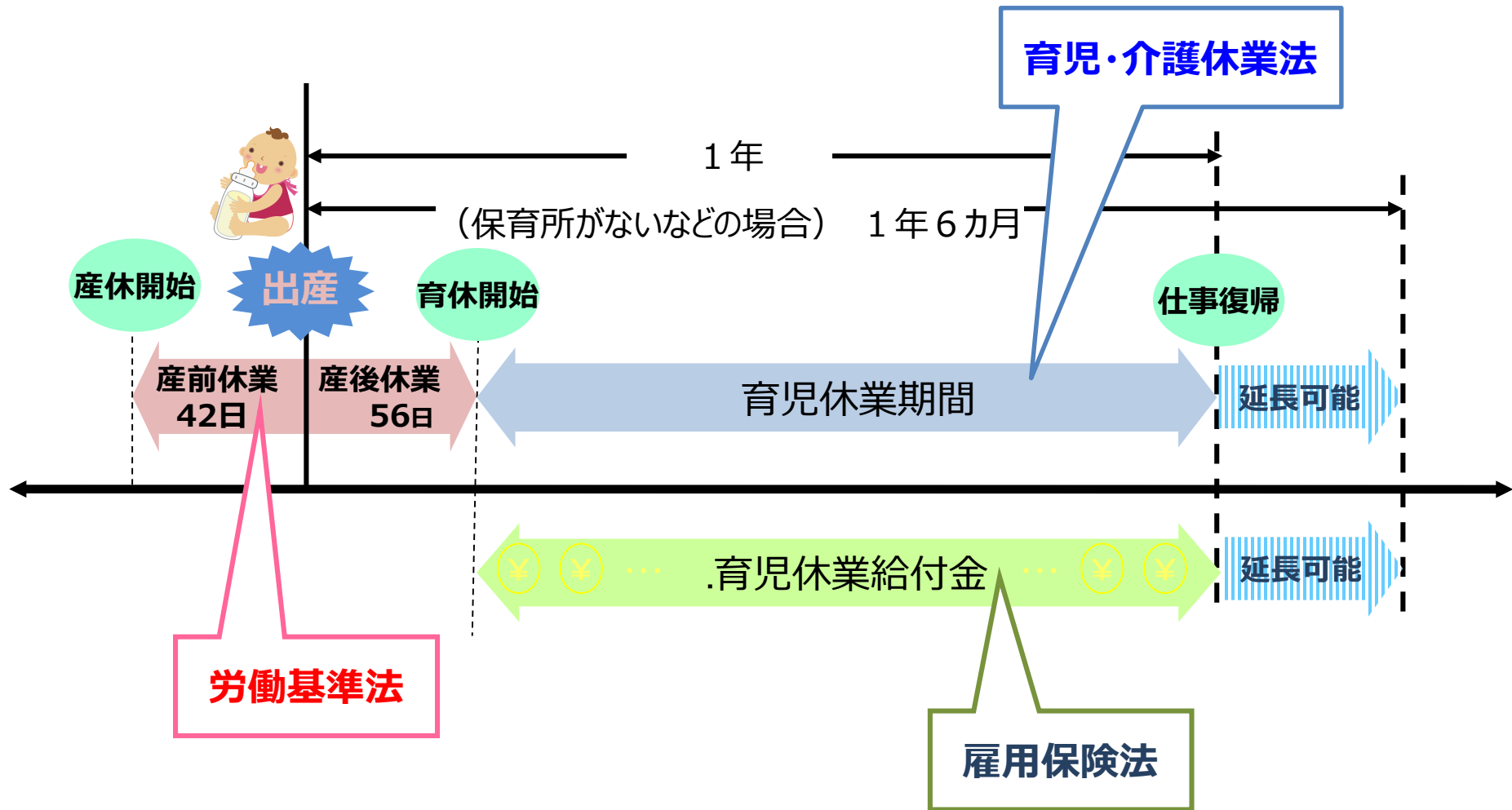
育児休業取得率



育児休業期間の状況(男女計)



出産・育児のための制度



出典：日本医師会HPを一部改変

具体的なとりくみ等の提案

(1) 女性獣医師の活躍促進のための理解醸成

- * 獣医師・関係者全体の理解醸成
- * 小動物診療分野における就業環境改善
 - ・ 雇用主のコンプライアンス意識向上
- * 獣医学生に対する就業教育（学生向けセミナー）

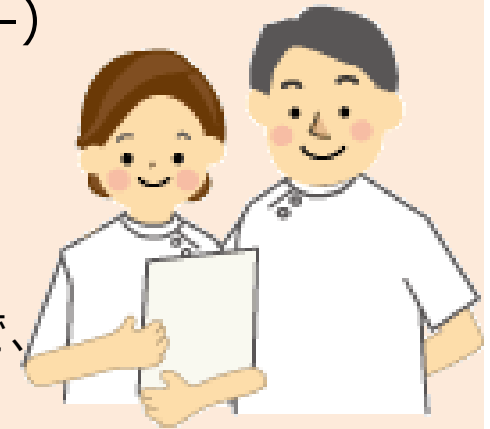
(2) 仕事を続けやすい環境づくり

- * 勤務形態の多様化の促進

⇒ ライフステージに応じて、

短時間勤務、ワークシェアリング等の多様な働き方で、
互いに助け合うことを提案

働く側と雇用主側の希望をマッチングさせるしくみが必要



* 代替獣医師

(3) 復職しやすい環境づくり

ロールモデルの紹介、相談窓口の設置、技術セミナー、技術情報・求人情報

eラーニングなどの研修 ⇒ 情報プラットフォームの構築

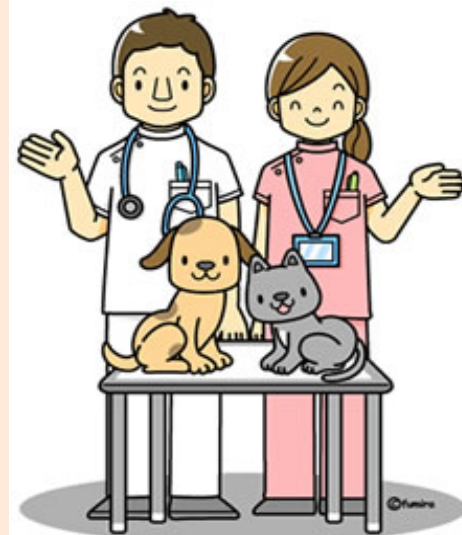
女性獣医師がより活躍できる環境づくりに向けて ー獣医師全体のワーク・ライフ・バランス改善のためにー

「女性獣医師がより活躍できる環境づくりに向けてー獣医師全体のワーク・ライフ・バランス改善のために」（平成27年5月報告書）より

女性獣医師が、出産、育児等を経験しつつキャリアアップもし、
自信と誇りをもって生き生きと活躍が続けられる環境は、
男性も女性もすべての獣医師が活躍しやすい環境

➡ より良い獣医療の提供・獣医師の社会的地位の向上

- * 出産・育児休暇が取りやすい環境の整備等
職場への支障・気兼ね等なく休暇を取得したい。
→「休暇中は代替獣医師が来てくれることがあたりまえ」
にすることが重要
- * 男性獣医師や出産・育児を経験していない女性獣医師からの意見
女性獣医師が優遇され過ぎている、甘えが助長される、
女性間に不公平感が出ているなど
⇒女性獣医師一人ひとりに心がけてほしいこと
 - ・限られた時間の中で最大限責任を果たす
 - ・自分でもバックアップ体制を確保するよう努める
 - ・お互いの多様性の尊重
 - ・配慮への感謝の気持ちを忘れない



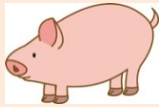
＊日本獣医師会における取組み＊

女性獣医師支援対策検討委員会①

(職域総合部会個別委員会)

目的等 女性獣医師支援特別委員会による提案の実現のための検討や
その実施による女性獣医師の就業支援。良質な獣医療提供体制の
整備の推進。

平成27～28年度

委員	市川陽一郎	(いちかわ動物病院)	
	梶木富美恵	(神奈川県食肉衛生検査所)	
	鎌田健義	(全国家畜衛生職員会)	
	酒井淳一	(岩手大学農学部FAMS)	
	白戸綾子	(独立行政法人 家畜改良センター)	
	田中公子	(動物検疫所神戸支所)	
	田中美貴	(埼玉県川越農林振興センター)	
	額田聡子	(千葉県農業共済組合連合会東部家畜診療所)	
	早矢仕裕子	(全国公衆衛生獣医師協議会)	
	福原美千加	(みかん動物病院)	
	栗本まさ子	(公益財団法人日本乳業技術協会)	

具体的な女性獣医師支援の取組み

* シンポジウムの開催

* 平成27年（岡山）

「すべての獣医師がより活躍できる環境づくりに向けてー女性獣医師の就業現場からー」

産業動物臨床、小動物臨床、公務員の現状・課題の紹介の後、総合討論

* 平成28年（秋田）

「女性獣医師の就業継続とキャリアアップをめざしてー支援のためのプラットフォームの構築」

女性獣医師をめぐる情勢、
女性医師支援の取組みの
紹介等の後、総合討論

* 平成29年（石川）

「女性獣医師の就業支援の取組み」

地方獣医師会における取組み、優良事例
の紹介等の後、総合討論



女性獣医師がより活躍できる環境づくりの推進

－獣医師全体のワーク・ライフ・バランス改善のために－

「女性獣医師がより活躍できる環境づくりの推進－獣医師全体のワーク・ライフ・バランス改善のために」（平成29年6月報告書）より

女性獣医師支援特別委員会が提案した対策について検討し、＊は農林水産省補助事業「獣医療提供体制整備推進総合対策事業」を活用して実施

（１）女性獣医師の活躍促進のための理解醸成

- ＊ 獣医師・関係者全体の理解醸成(シンポジウムの開催)
- ＊ 小動物診療分野における就業環境改善(シンポジウムの開催)
- ＊ 獣医学生に対する情報提供（学生向けセミナーの実施）

（２）仕事を続けやすい環境づくり

＊勤務形態の多様化の促進

ライフステージに応じた、短時間勤務等多様な働き方の提案

＊代替獣医師の確保

休暇中は「休暇中は代替獣医師が来てくれることがあたりまえ」に

（３）復職しやすい環境づくり

- ＊ 職場復帰・再就職に向けた技術研修

＊ ＊ 女性獣医師応援ポータルサイト

ロールモデル、相談窓口、技術情報・求人情報、eラーニングなど



女性獣医師がより活躍できる環境づくりの推進

ー獣医師全体のワーク・ライフ・バランス改善のためにー

「女性獣医師がより活躍できる環境づくりの推進ー獣医師全体のワーク・ライフ・バランス改善のために」（平成29年6月報告書）より

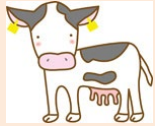
新たな対策の提案等

- 1 ポジティブ・アクションの推進(目標の設定)
女性役員が、いない地方獣医師会は1名は女性とする、
いる地方獣医師会は複数名にすることを、2020年頃を目途にめざす。
- 2 男性中心型の制度・慣行の見直しのはたらきかけ
子育て中の女性にも男性中心の時代のままの異動ルールが適用されている
等の制度・慣行について、顕在化したことから順次、見直しの働きかけを行う。
- 3 地方獣医師会における取り組み状況の紹介
地方獣医師会の取り組みについてのアンケート調査を、定期的に行って
公表し、各地の取り組みの参考にする。

＊日本獣医師会における取組み＊

女性獣医師支援対策検討委員会② (職域総合部会個別委員会)

目的等 女性獣医師支援特別委員会による提案の実現のための検討や
その実施による女性獣医師の就業支援。
平成29年度～

委員	岩村 舞	(オホーツク農業共済組合北見家畜診療所)	
	上松 瑞穂	(みやざき農業共済組合家畜診療部生産獣医療課/ 産業動物に興味のある女性の会 (畜ガールズ))	
	梶木富美恵	(神奈川県保健福祉局生活衛生部)	
	佐藤れえ子	(岩手県獣医師会理事/岩手大学農学部動物病院)	
	清水 景子	(山梨県獣医師会理事/山梨県西部家畜保健衛生所)	
	白岩利恵子	(岩手県獣医師会理事/岩手県獣医師会食鳥検査センター)	
	白戸 綾子	(独立行政法人 家畜改良センター茨城牧場)	
	関真美子	(日本大学生物資源科学部獣医学科獣医外科学研究室)	
	園尾 美子	(グリーンエバー動物病院)	 
	福原美千加	(神奈川県獣医師会理事/みかん動物病院)	
	栗本まさ子	(日本獣医師会特任理事/日本乳業技術協会)	

* 女性獣医師応援ポータルサイト ➡ 改良・充実



17

女性獣医師応援ポータルサイト

● 日本獣医師会とは

● サイトマップ

● お問い合わせ

文字サイズ

標準

拡大

女性獣医師の「いきいきと働く」を応援します！





いきいきと輝きながら活躍する
女性獣医師をご紹介します

ロールモデル一覧はこちら →

ロールモデル
Role models

新着情報一覧

2017. 12.13 ロールモデルを追加いたしました。

2016.02.24 eラーニング動画を追加いたしました。

2016.02.24 ロールモデルを追加いたしました。





獣医師クイズ（プレオープン版）

出産・育児等で多忙な女性獣医師が、スマートフォンやタブレット等を利用して、短時間でも気軽に学習可能なクイズ形式の教材

*「ネットで力だめし 獣医師国家試験に挑戦」として本格オープン予定

世界獣医師会 生涯教育

「World Veterinary Association (WVA)
Continuing Education (CE) 」

URL : <https://www.wcea.education/veterinary>

* 利用しやすい日本語の説明を掲載予定

有料コンテンツの視聴についても検討中

その他

動物衛生研究所（部門）の疾病情報

動物医薬品検査所の薬剤耐性関係の情報

家畜改良センターの飼養管理技術関係の情報

獣医師生涯研修事業のQ&A などを多数掲載



人材募集
日本獣医師会
人材募集ページ



人材募集検索

沖縄

北海道

東北

関東

中部

関西

中国

四国

九州

職種：☐獣医師 ☐教員 ☐職員 ☐動物看護職 ☐その他
職域：☐産業動物診療分野 ☐小動物診療分野 ☐公務員・団体職員 ☐その他
雇用形態：☐正職員 ☐契約職員・嘱託 ☐パート・アルバイト
休日：週☐日以上

日本獣医師会 人材募集掲載申込フォーム

※前略 掲載可能とする施設等については、労働基準法はじめ関係法令等を順守し、厚生年金、健康保険、労災保険や雇用保険等の社会保険に加入し、かつ就業規則や給与規程等を有していることを条件といたします。

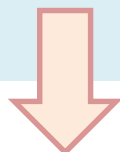
上記条件を満たしていない場合、掲載を取り消す場合がありますので、予めご了承ください。

下記フォームに入力の上、送信してください。



施設・機関名、勤務先名称、職種、職域、
仕事内容（400文字以内でご記入ください。）

雇用形態、期間、労働条件等（賃金、諸手当、賞与、保険等）、以下略
を入力していただき掲載



女性獣医師がライフステージに合った就業先を探しやすいように
女性獣医師の復職に役立つ情報をわかりやすく掲載できるように 改良を検討中

あわせて



相談体制の充実を検討



各地の女性医師相談窓口・支援情報等

- ・[北海道医師会女性医師等支援相談窓口](#)
- ・[北海道大学病院女性医師等支援事業](#)
- ・[国立大学法人旭川医科大学二輪草センター](#)
- ・[青森県医師会医師相談窓口](#)
- ・[岩手県女性医師就業支援事業](#)
- ・[宮城県女性医師支援センター](#)
- ・[あきた女医ネット](#)
- ・[\(山形県\)医師職業紹介システム 復職を希望する女性医師の方へ 県内子育て・介護情報相談窓口](#)
- ・[福島県女性医師支援センター\(ふくしま女性医師支援ネットワーク\)](#)
- ・[福島県立医科大学女性医師支援センター](#)
- ・[筑波大学附属病院女性医師看護師キャリアアップ支援システム](#)
- ・[茨城県医師会女性医師就業支援相談窓口](#)
- ・[自治医科大学医師・研究者キャリア支援センター](#)
- ・[獨協医科大学病院女性医師支援センター](#)
- ・[群馬県医師会保育サポーターバンク](#)
- ・[群馬大学医学部附属病院男女協働キャリア支援部門](#)
- ・[埼玉県女性医師支援センター](#)
- ・[女性医師等就業支援相談窓口\(千葉県地域医療支援センター\)](#)
- ・[順天堂大学 男女共同参画推進室](#)
- ・[東京医科歯科大学 女性研究者支援室](#)
- ・[東京医科大学 医師・医学生支援センター](#)
- ・[東京慈恵会医科大学附属病院 女性医師キャリア支援室](#)
- ・[東京女子医科大学 男女共同参画推進局](#)
- ・[東邦大学男女共同参画推進センター](#)
- ・[神奈川県医師バンク\(神奈川県医師再教育・再就業支援センター\)](#)
- ・[新潟県女性医師ネット](#)
- ・[富山県医師会\(女性医師等支援相談\)](#)
- ・[石川県女性医師支援センター](#)

女性の就業環境（その後）



平成11年(1999年) 男女共同参画社会基本法

* 男女共同参画基本計画を立て 5年ごとに見直し

* 第4次男女共同参画基本計画(平成27年12月25日閣議決定)抜すい*

男女共同参画社会の実現は、少子高齢化が進み、人口減少社会に突入した我が国社会にとって、社会の多様性と活力を高め、我が国経済が力強く発展していく観点から極めて重要であり、社会全体で取り組むべき最重要課題である。

長時間勤務や転勤が当然とされている男性中心の働き方を前提とする労働慣行（男性中心型労働慣行）が依然として根付いており、育児・介護等と両立しつつ能力を発揮して働きたい女性が思うように活躍できない背景となっている。

女性の活躍推進のためにも男性の働き方・暮らし方の見直しが欠かせないことから、男性中心型労働慣行等を変革し、職場・地域・家庭等あらゆる場面における施策を充実させる。男性中心型労働慣行を見直すことによって、調和がとれた男女が共に暮らしやすい社会の実現を目指す。

○2020年までに指導的地位に女性が占める割合が少なくとも30%程度になるよう期待するという目標を設定し、取り組みを進めてきた結果、社会全体で女性の活躍の動きが拡大し我が国社会は大きく変わり始めている。

女性の政策・方針決定過程への参画状況の推移

(平成29年12月26日内閣府HP)

専門的職業

全体に占める女性の割合%

職能団体役員

役員に占める女性の割合%

獣医師 30.1

日本獣医師会 4.2
(平成26年まで0でした)

地方獣医師会 4.9

医師 21.1

日本医師会 9.4

都道府県医師会 5.4

歯科医師 23.0

日本歯科医師会 7.4

都道府県歯科医師会 4.1

薬剤師 65.9

日本薬剤師会 6.7

都道府県薬剤師会 19.4

弁護士 18.4

日本弁護士連合会 8.9

各弁護士会 15.5

* 指導的地位に女性が占める割合30%程度を達成しているのは、
国際機関等の日本人幹部職員42.9% 市町村公務員係長相当職33.5%ぐらい

ジェンダー・ギャップ指数2017

平成29年11月

- ・世界経済フォーラム（World Economic Forum）が各国における男女格差を測るジェンダー・ギャップ指数（Gender Gap Index : GGI）を発表。

- ・この指数は、経済、教育、政治、保健の4つの分野のデータから作成され、0が完全不平等、1が完全平等を意味します。

- ・2017年の日本の順位は、144か国中114位（2016年は144か国中111位）でした。

出典：内閣府男女共同参画局HP

ジェンダー・ギャップ指数 (2017)
主な国の順位

順位	国名	値
1	アイスランド	0.878
2	ノルウェー	0.830
3	フィンランド	0.823
4	ルワンダ	0.822
5	スウェーデン	0.816
6	ニカラグア	0.814
7	スロベニア	0.805
8	アイルランド	0.794
9	ニュージーランド	0.791
10	フィリピン	0.790
11	フランス	0.778
12	ドイツ	0.778
15	英国	0.770
16	カナダ	0.769
49	アメリカ	0.718
71	ロシア	0.696
82	イタリア	0.692
100	中国	0.674
114	日本	0.657
118	韓国	0.650

地方獣医師会における取り組み

アンケートの結果 （平成28年度から実施） 28年度→29年度

* 女性獣医師支援の取り組み

行っている 13→14 （新たに開始 6）

委員会等の設置・活動支援

会費の減免(休会会員のための対策等)

代替獣医師の確保対策（無料職業紹介事業所等）

情報提供（女性獣医師応援ポータルサイトのバナー 17）など

* 女性役員の数を増やすための検討

行っている 6→11

女性枠の新設、立候補の呼びかけ、推薦の依頼 など

地方獣医師会の女性役員

年	女性の理事・監事がある地方会(割合)	うち女性役員が複数女性が副会長)	女性役員総数(割合)
平成9年	3 (5%)	0 ☆ 0	3 (0%)
19年	16 (29%)	4 ☆ 0	23 (2%)
28年	25 (45%)	5 ☆ 1	32 (3%)
29年	34 (62%)	10 ☆ 2	48 (5%)



ご清聴ありがとうございました